

# アニメになった 名作たち

『ムーミン』家なき子』『フランダーズの犬』『アルプスの少女ハイジ』。いずれも児童文学の名作と言われる作品ですが、「それでは共通点は？」と尋ねれば、多くの方が「昔、テレビで見ました」と答えるのではないのでしょうか。

このように、数多くの作品がテレビや映画によりアニメーション化され、子供たちに親しまれて来ました。しかし、原作とは違う形に脚色されていることも意外と多いのです。

例えばタイトルですが、次のアニメの原作書名をご存じでしょうか？

Q↓①《アルプス物語わたしのアンネット》  
②《おねがい！サミアどん》③《大草原の小さな天使 ブッシュベイビー》④《未  
来少年コナン》(名探偵…)ではありませ  
ん)⑤《名犬ジョリイ》⑥《ロミオの青  
い空》

A↓①『雪のたから』②『砂の妖精』③『カ  
バの国への旅』④『残された人びと』  
⑤『アルプスの村の犬と少年』⑥『黒い  
兄弟』

イメージがずいぶん違うことに驚かれたと

思います。また、主人公の名前が変更されて  
いる場合もあります。前出の作品の中でも、  
⑤のジョリイは原作ではベル、⑥のロミオは  
原作ではジョルジョとなっているのですが、  
日本では馴染みにくい名前ということで変更  
されています。更には、原作には登場しない  
マスコットキャラクターを誕生させたりとい  
うことがあるようです。

次にストーリーですが、原作が短い場合な  
ど、その基本設定だけを活かし、シリーズの  
殆どをオリジナルシナリオに大幅変更するこ  
ともあります。その成功例の一つとして、皆  
さんご存じの《母をたずねて三千里》があげ  
られます。一年間にわたってテレビ放映され  
たこの作品の原作は、『クオレ——愛の学校』  
というイタリアの学校を舞台にした作品で、  
その中で語られる『毎月のお話』で紹介され  
た短編の一つなのです。原作では簡単に述べ  
られただけの日常描写が、アニメでは丹念に  
描き込まれています。原作の雰囲気や壊す  
ことなく、見事な成功例となっています。

通常アニメの原作となる作品は、高学年を  
対象とした完訳に近いものか、数百頁もある  
原作を数頁にダイジェストした、絵本で出版  
されているようなものが多く、物語に純粹に  
感動できる年代と思われる低学年の子供たち  
に対しては、ちょうど良いものが無いという  
のが現状です。ストーリーの骨格だけになっ  
てしまったダイジェスト絵本で読むよりは、

丁寧な作りのアニメで一年なり半年をかけ視  
聴した方が、物語を味わうためには有効な手  
段なのかもしれません。しかし、基本的にア  
ニメと本は別物であり、それぞれが別々な内  
容を語るのにふさわしい表現方法を持ってい  
ます。更に、(これは絵本にもいえることですが)  
アニメ化された映像のイメージがあまり  
に強く、その後、原作を読んだときに違和感  
を覚えてしまうという危険性もあります。極  
端な場合、アンデルセンの『人魚姫』と、デ  
イズニーの『リトル・マーメイド』のように、  
ストーリーさえ全く異なってしまう作品も  
あるのです。

アニメを見て関心を持った方は、ぜひとも  
原作を手にとり、本当の姿を知っていただき  
たいと思います。

多くの名作がアニメーションとなり、親し  
まれています。ごく有名な作品以外は、そ  
の原作をご覧になる機会も意外と少ないの  
ではないでしょうか？ 県立図書館では、四月  
十一日(土)から六月三日(水)まで、展示コーナ  
ーにおいて「アニメになった名作展」を開催し  
ております。アニメの原作となった図書やア  
ニメのポスター、パンフレット等をご紹介します  
と共に、当館所蔵のアニメ原作図書目録も  
作成いたしました。

懐かしのあのアニメ、いま放送中のこのア  
ニメの原作を、この機会にどうぞご覧ください。